

国際CIO学会 2010年第2回研究会報告（概要）

2010年9月6日 真瀬 宏司

代表者：真瀬 宏司（学会理事・日本CIO協会会長）

日時：8月26日（木） 16:00-18:00

場所：（株）パソナグループ本社 東京都千代田区大手町2-6-4

講演者：双日株式会社情報企画部部長 赤司一郎氏

タイトル：「双日におけるグローバルICT戦略」

参加者数：10名（参加者名簿は別に提出する）

（注）今回は日本CIO協会との共催となり、CIO協会会員が約20名参加

内容：

グローバルに事業展開されている総合商社双日のICT戦略を統括されている赤司氏に標準化と現地化の兼ね合いなど直接世界中の現場を指揮する立場からグローバルなICT戦略の勘所についてお話いただきました。

国内7拠点（支店等）海外91拠点（現地法人等）、関係会社が国内148社・海外376社を持つ双日グループのネットワークとデータセンターを抜本的に再編し、世界に18ヶ所あったシステム関連拠点を東京とニューヨークの2ヶ所に統合し50%近いコスト削減を行った。

この日米2拠点管理体制に合わせ、全世界を「日本・アジア・中国」と「欧州・米州」の2エリアに分割。

業務システムは他社（商社）製の基幹システムの採用とERPなど混在している。

現場でのEUC（End User Computing）なども浸透しており個別最適と全体最適の調整、特に経営者の要求する情報をシステムのデータからどのように加工するか、データの「粒度」の標準化をいかに徹底するかという課題に取り組んでいる。

今後は海外小規模店やグループ関連会社へのネットワークの拡張とBCP対応の各種インフラの冗長化に取り組む予定。

講演後は活発なQ&Aが行われ学会とCIO協会との共催という初めての試みにより、学問的な切り口からの知見と実業の知見がうまくかみ合い、中身の濃いディスカッションが展開されました。

なお、会場のパソナグループ本社ビルには「アーバンファーム」が設置されており、1階と2階には写真のような「田んぼ」やトマト園などもあり、ちょうど3月に田植えされた稲の稲刈りが行われていました。

